



おおみや トピックス

第7号

善王寺北公民館前のすべり台が
生まれかわりました!

〈発行 大宮市民局〉

河辺農業者会議 農地見て歩き隊

『今、何とかしなければ』そんな思いで設立された団体が、河辺農業者会議です。農業従事者の高齢化や機械の老朽化とともに離農が相次ぎ、現在農業を取り巻く状況は深刻な事態を迎えています。そこで実際に自分たちの目で現状を確認し、今後どうしていくべきなのかを考えるため、今回『農業・農地見て歩き隊』が開催されました。15名の方が参加され、約2時間・7か所の河辺区の農地を見て歩きました。参



加された皆さんはそれぞれに『今、何とかしなければ』と区内の土地利用について、様々な角度から活発な意見が飛び交いました。

羽衣国際大学 小学生とCM作り

羽衣国際大学で放送やメディア映像を学ぶ学生たちが、大宮南地域を拠点として、京丹後市立島津小学校の6年生と一緒に、CMづくりを行いました。総合的な学習の

時間に、「思いを乗せて発信したい」という児童の思いを形にしたいということで、発信する方法の一つとして、当大学の教授に教わり大学生と交流しながら、PR映像の撮影を行いました。



は、出演した映像を恥ずかしそうに見ながら、嬉しそうな様子でした。

大学生は、撮影した映像を奥大野公民館に持ち帰り、2日間かけて編集作業を行ったCMを小学校で上映しました。児童たち

第1回大宮町避難所運営研修会

近年頻発している大災害に備え、「地域レジリエンス（地域防災、災害復興、持続可能な都市・地域への再生）」が専門である龍谷大学政策学部の石原凌河准教授と石原ゼミの学生をお招きして、各区長・自主防災会長を対象とした避難所運営研修会（全5回実施予定）を開催しました。第1回となる今回は8地区・18名の参

加があり、石原准教授からの講義では、熊本地震を例に避難所運営の重要性について紹介され、住民が主体となって避難所運営を行うことが必要であるというお話がありました。学生と参加者による意見交換では、災害時を想定し自分ならどちらの道を選ぶか『Yes』か『No』で選択する形式で行われ、参加者は各班に分かれ活発に議論され答えを導き出しておられました。



皆さんも『もし災害が起こったら』を今一度考えてみてください。

大宮町の人口

令和元年7月末日現在

大宮町人口	(人)
0歳～14歳	1,342
15歳～64歳	5,875
65歳～	3,007
合計	10,224

【参考】	(人)
京丹後市人口	54,590